

第6章 地域別の方針（地域別構想）

1 地域別構想の考え方

まちづくりを進めるうえでの重要な区域の単位として、住民生活と密接に関わりながら形成される「地域のまとまり」があります。生活に密着した市民主体のまちづくりを進めるために、市民にとって最も身近な生活圏である「地域のまとまり」が将来どのようになっているかをわかりやすく示すことが大切です。

そこで、前章までの本市全体のまちづくりの目標や、分野別の方針を踏まえ、よりきめ細かい地域ごとのまちづくり方針を示します。

地域区分については、これまでの5つの地域の基礎図をもとに、その規模と境界についての次のような考え方を基本として、各地域の特性を踏まえながら共通性や類似性のある地域を、ひとつのまとまりとして設定します。

(1) 規模

地域の規模については、以下の点を考慮し、既存の地区区分や13の市立公民館の地区区分を踏まえながら、数個の公民館の地区程度（人口規模は概ね5,000～20,000人程度）のまとまりを標準として設定します。

- ア 都市全体の構造と各々の地域構造との関連がわかりやすい規模であること。
- イ 地域の特徴や個性をあらわし、構想に反映しやすい規模であること。
- ウ 市民にとって地域づくりに参加しやすい身近な規模であること。

(2) 境界

地域の境界については、以下の点を考慮して設定します。

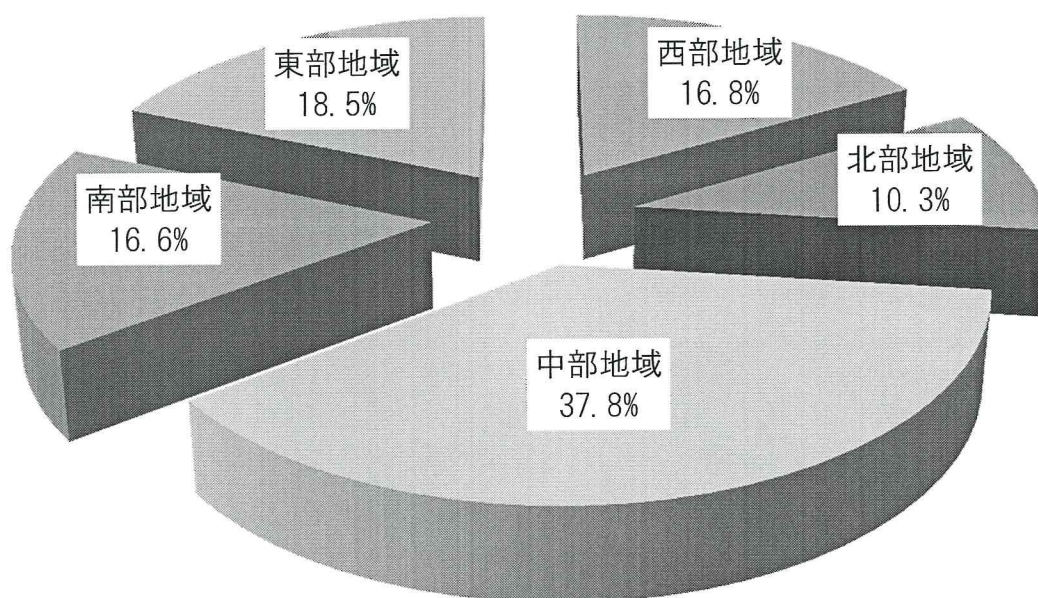
- ア コミュニティにかかわるひろがり（旧町村界、町丁界、自治会、市立公民館の地区界など）の境界を踏まえること。
- イ 幹線道路や鉄道、河川などの分断要素を踏まえること。
- ウ 現況把握の際の情報集計上の集計単位を踏まえること。
- エ 総合計画や国土利用計画、「整備、開発又は保全の方針」等で設定されているゾーニングを踏まえること。

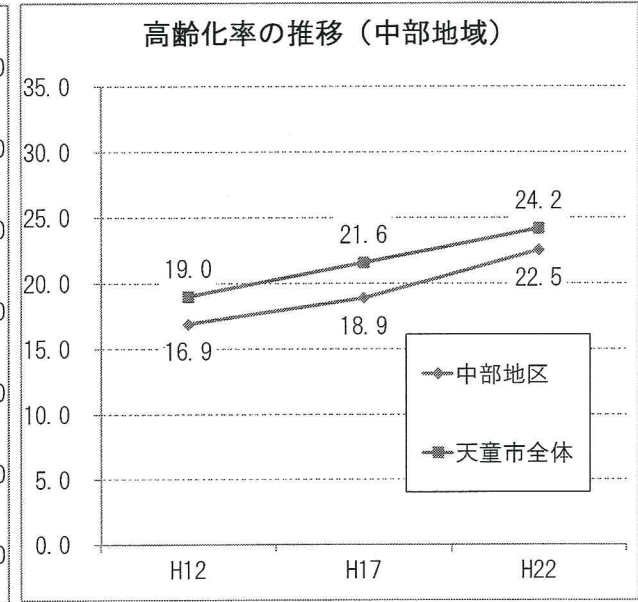
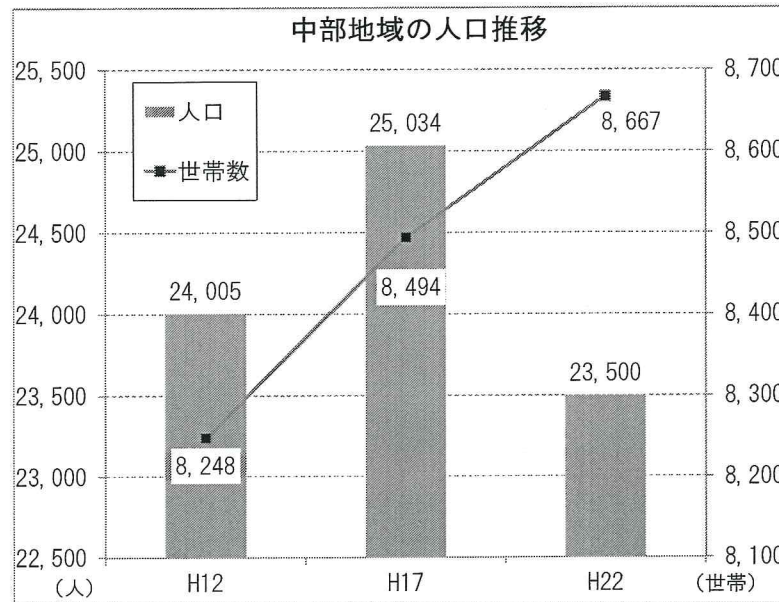
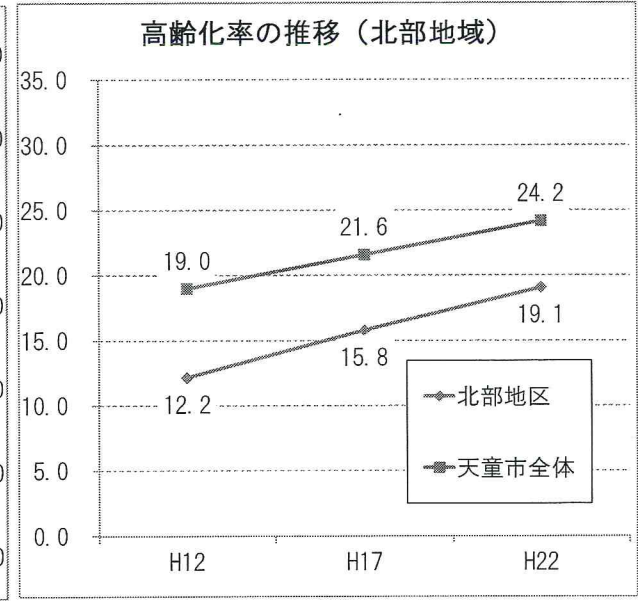
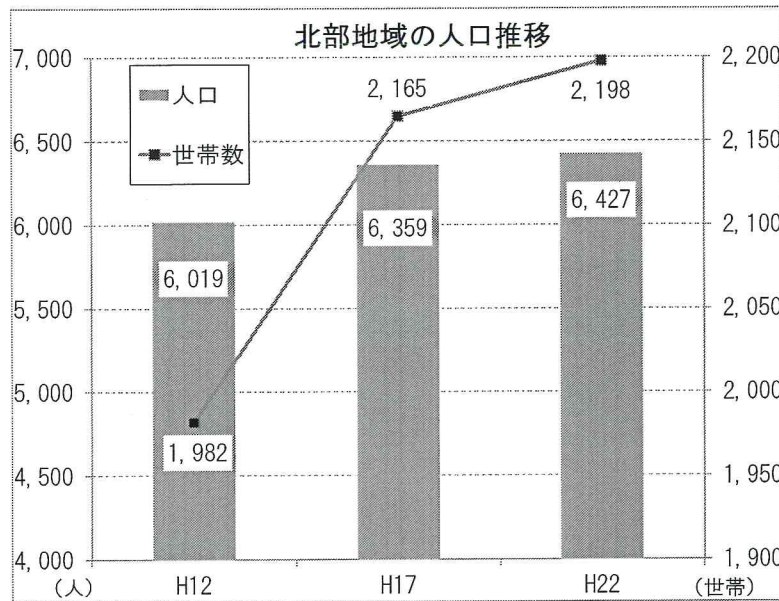
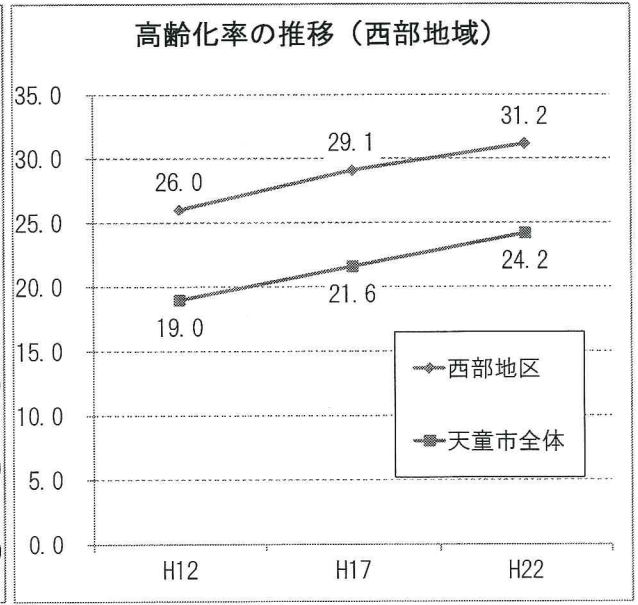
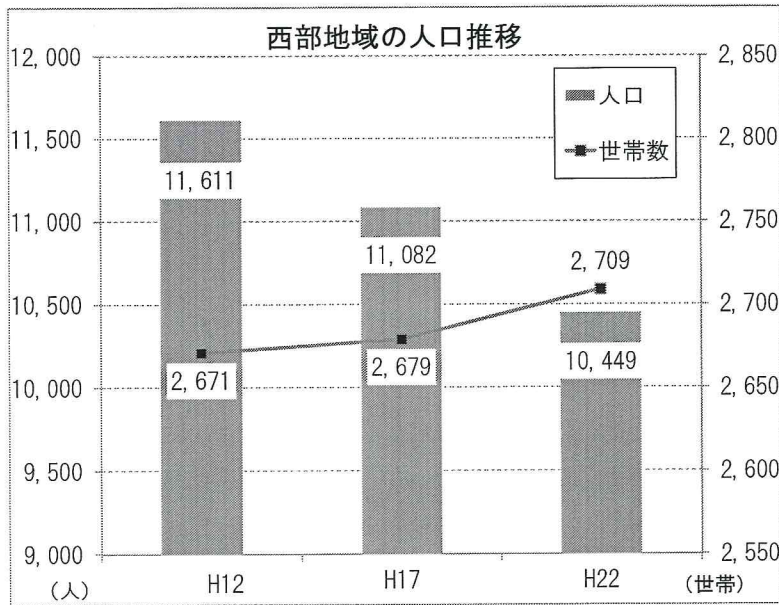
市内5地域の人口（平成22年国勢調査）

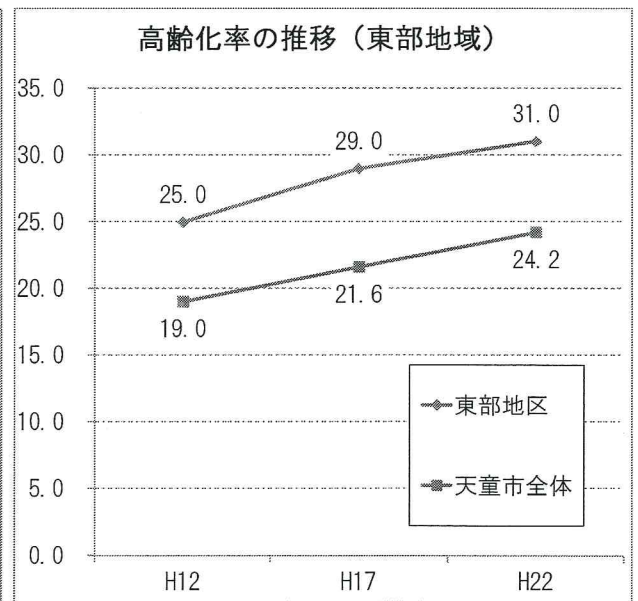
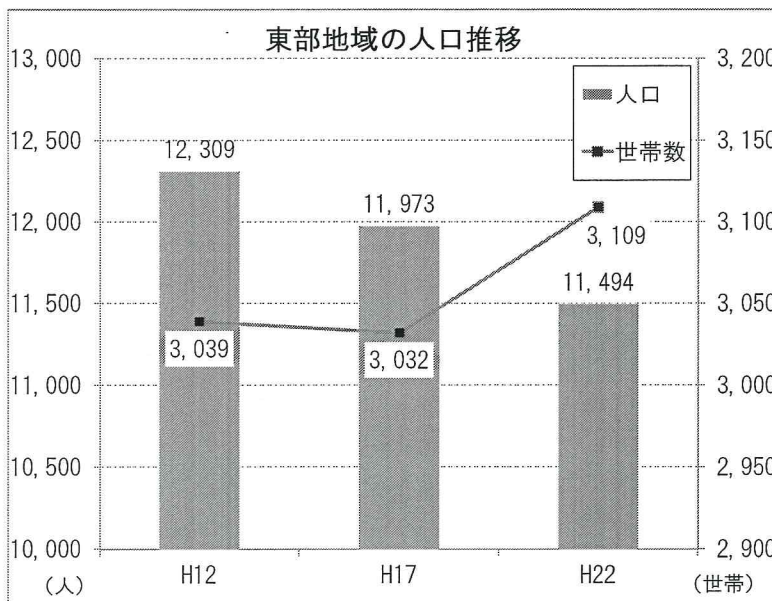
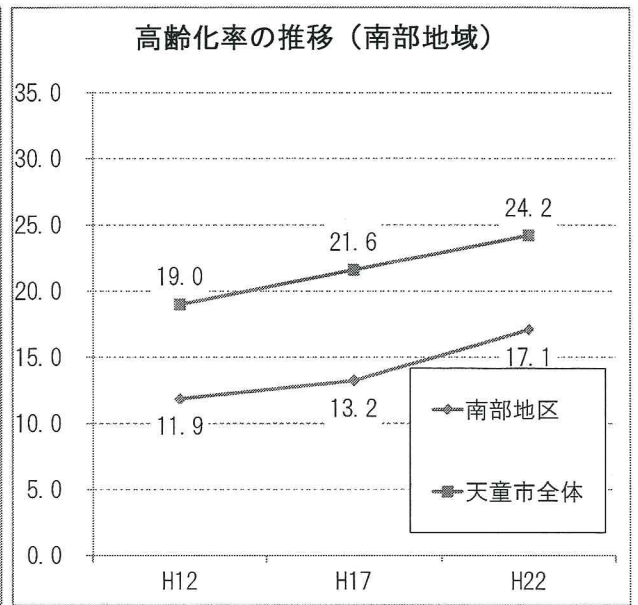
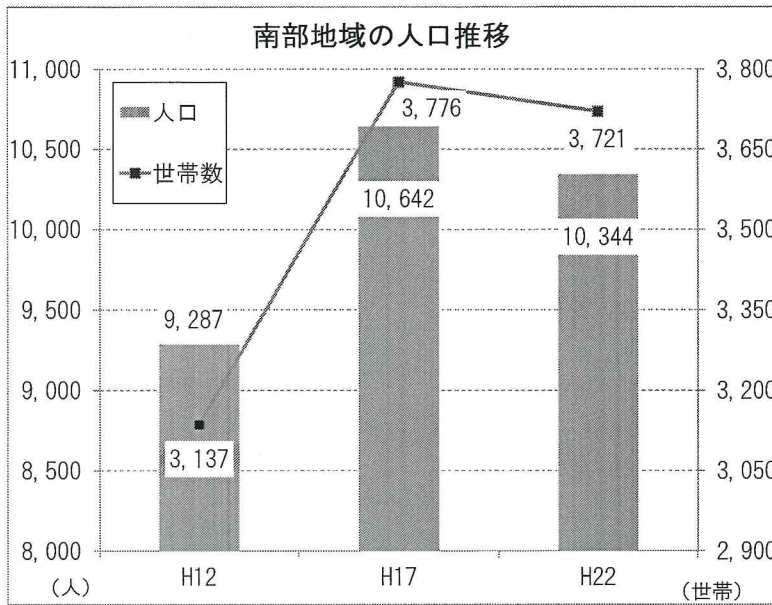
（人・世帯）

	総数	男	女	世帯数
西部地域	10,449	5,017	5,432	2,709
北部地域	6,427	3,081	3,346	2,198
中部地域	23,500	11,402	12,098	8,667
南部地域	10,344	5,121	5,223	3,721
東部地域	11,494	5,527	5,967	3,109
総数	62,214	30,148	32,066	20,404

市内5地域の人口比率（平成22年国勢調査）







2 地域別構想

(1) 西部地域

ア 地域の現状

(ア) 人口と世帯数（別紙資料）

(イ) 地域の現状

西部地域は、JR奥羽本線の西側に位置し、地域全域が市街化調整区域に指定されています。

蔵増地区を中心とした、成生地区から高掬地区にかけての地域は、乱川扇状地と最上川沿いに広がる沖積平野を利用した県下でも有数の水田地帯であり、西に位置する寺津地区は、最上川によって形成された水はけの良い自然堤防を利用して果樹園が営まれ、水田地帯に点在する既存集落と周囲に連なる美しい山並みと調和して、魅力ある田園風景を醸し出しています。

また市内の主な河川の下流域にあることから数多くの湧水がみられ、絶滅危惧種であるイバラトミヨの生息も確認されています。

さらに、古墳時代の農村集落である西沼田遺跡（国指定史跡）や最上川舟運の名残をとどめる船着場、中世の城下町の面影を残す高掬地区、成生庄の中心として栄えた成生地区など歴史的な資源が数多く残された地でもあります。

都市施設や公益施設としては、地域のほぼ中央を南北に縦断する形で東北中央自動車道が走り、広域交流の拠点となる天童インターチェンジが設置され、ゆぴあ（寺津）、特別養護老人ホーム（蔵増・成生）などの健康福祉関連施設が立地しています。

住環境については、公園や生活道路の整備が遅れているところが見られるほか、市営バスの廃止等により、中心市街地への交通利便性に劣っているため、高齢者や学生などの交通弱者の生活に不便をきたしています。

さらに、既存集落において、人口の減少や高齢化の進展による地域の活力の低下が懸念されています。

イ 地域の課題

(ア) 人口減少社会への対応

a 地域を担う若者が集落外に転出して減少してきており、高齢者が家を守っている状況にあります。

(イ) 少子高齢化社会への対応

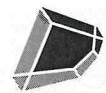
a 高齢者世帯、単身世帯が増え、空き家が急激に増えていくことが懸念されます。

b ゆぴあについては、高齢者や障がい者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる環境が求められています。

c 高齢者福祉施設等が建設整備されることが求められています。

(ウ) 地域コミュニティの維持と景観の保全

a 人口が増えない中で、若者が定住する魅力ある地域づくりを進める必要があります。都市部を好んできた若者が、田舎暮らしも面白いという価値観を持ってもらえるような取組が必要です。



b 高揃公民館周辺には、小学校、農業者トレーニングセンター、みどり保育園、羽陽学園短期大学があり、公共施設が集中しているため、定住人口の増加が期待されています。

c 南部地域や東部地域における水田の乾田化や宅地開発等の土地利用の変化により、高揃地区の地下水の水位が下がり、地下水の利用が困難になっています。

(I) 交流人口の拡大

a 西沼田遺跡公園、水郷寺津沼公園、ゆびあなどの地域資源や歴史的な名勝、素晴らしい景観を生かして、交流人口を増やし、地域の活性化を図る必要があります。

(f) 安全・安心に暮らせるまちづくり

a 計画規模を上回る局所的短時間の集中豪雨（ゲリラ豪雨）の発生や都市化の進展に伴う雨水流出力の増大により、道路の冠水や雨水幹線等の越流が起きており、倉津川の越水被害等が懸念されています。

b 緊急時や災害時に、緊急車両が進入できない道路があるため拡幅整備する必要があります。

c 高揃から寺津までの道路の防犯灯が少なく、歩道もないため、高揃駅を利用する学生にとって危険な状況にあるため、改善が求められています。

(g) 低炭素型都市の形成

a 中心市街地への公共交通の利便性が劣っているため、高齢者や学生などの交通弱者の生活に不便をきたしています。

(h) 工業・業務系団地の開発

a 東北中央自動車道天童インターチェンジ周辺は、利便性の高い地域であることから、工業・業務系団地の開発と企業誘致を進め、新たな雇用の場の創出と就労の場の確保を図ることが求められています。

ウ 地域の将来像と目標

(ア) 地域の将来像

大地の恵みと歴史と伝統文化に育まれ、うるおいと安らぎのある地域づくり

「農」の恵みと歴史を生かした田園地域づくり（現マスタープラン）

(イ) 地域の目標

水田地域は、ほ場整備がほぼ完了しており、効率的な農業生産が行われていますが、さらに担い手農家等への利用集積を進め、多様化する消費者ニーズや経済のグローバル化に対応した生産性の高い農業の確立を目指します。

地域の中央を縦断する東北中央自動車道及びそのネットワーク道路を生かした新たな土地利用については、農業的土地利用との調整を図りつつ、計画的に展開する必要があります。

また、最上川、乱川などの河川敷を利活用した親水空間の整備と、月山葉山を望む自然景観、観光農業を中心とした観光・レクリエーション機能や豊かな歴史、文化財との連携により、地域の振興を図ります。

エ 地域づくりの基本的な方針

(7) 機能が集約されあらゆる世代への優しさを備えた地域づくり

- a 空き家台帳を作成し、管理不全な空き家の所有者への是正指導と要請を行い、空き家等に係る事故、犯罪及び火災の防止並びに生活環境の維持及び改善を図り、安全で安心な地域社会を形成します。
- b 市民保養施設「ゆびあ」について、高齢者や障がい者をはじめ誰もが安全・安心で快適に利用できるよう施設や設備などの適切な維持管理に努めます。
- c 地域包括ケアシステムの構築をめざして、地域密着型社会福祉施設の開設を促進し、きめ細かなサービス基盤整備を図ります。

(イ) 自然環境と調和し地域コミュニティを維持・増進する地域づくり

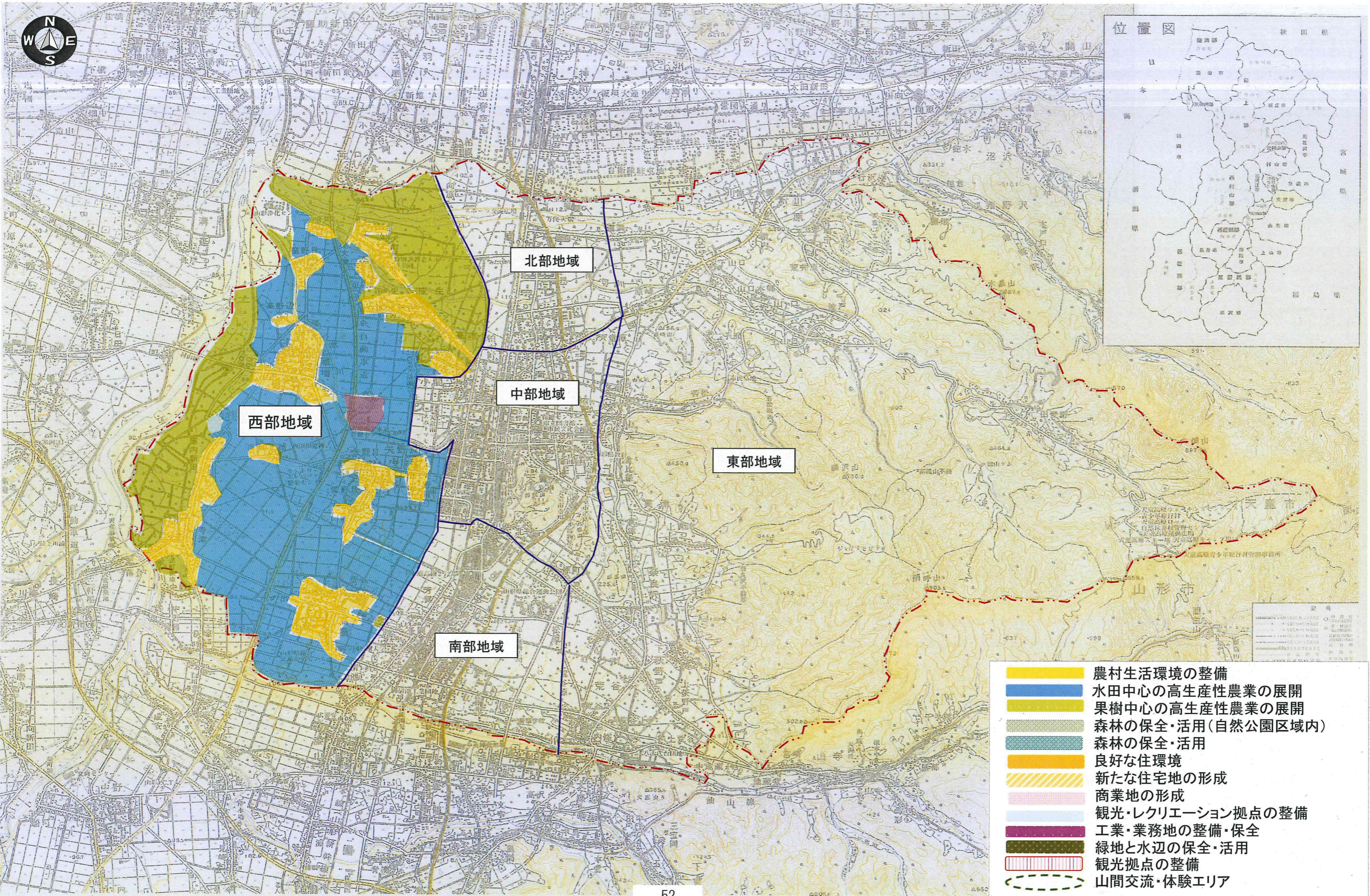
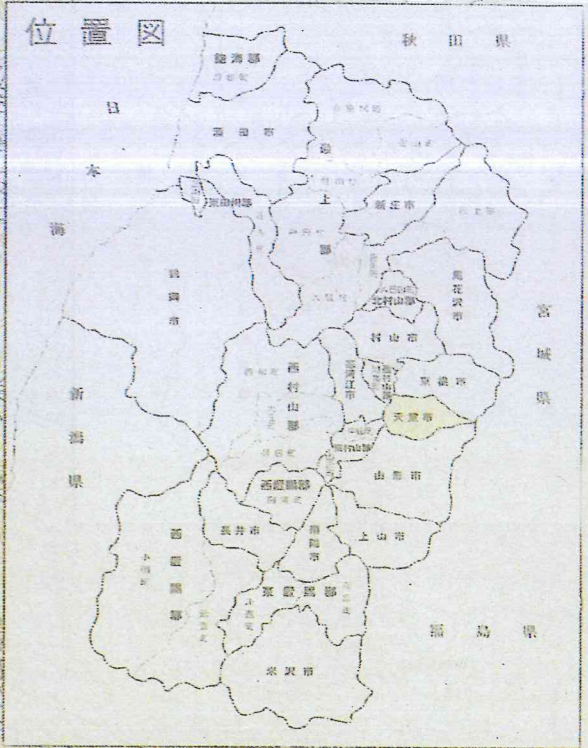
- a 減少傾向にある田園集落の定住人口を確保し、活力を維持・発展させることを目的として、民間活力の導入による田園型住宅地の整備と供給を促進します。また、緑豊かでゆとりある生活環境での定住を志向する市民ニーズに応えるため、優良田園住宅認定制度を活用するとともに、集落部における民間の開発計画については、田園集落の土地利用との調整を図り、地区計画の設定を行った上で整備を促進します。
- b 成生地区では快適で住みやすいエコタウン構想を展開します。
- c 蔵増、高揃、寺津などかつての城下町や船着場のほか、西沼田遺跡や成生庄関連遺跡などの地域の資源、歴史的な名勝、月山朝日連峰を背景とした美しい田園景観や伝統・文化を生かして、西部地域の観光の振興を図り、交流人口を増大させるとともに定住人口を確保し、地域の活力を生み出します。

(ウ) 安全・安心で環境に対する負荷の少ない地域づくり

- a 倉津川の洪水対策として、市全体の雨水排水対策を見直し、倉津川への負荷軽減を図る施策を展開します。
- b 緊急時や災害時に緊急車両が無理なく進入、通行できるよう道路の整備を進めます。
- c 寺津から高揃までの道路の歩行者等の安全を確保するため、防犯灯の設置を進め、歩道の整備について関係機関へ要望していきます。
- d 予約制乗合タクシーの予約時間や運行形態、運行経路等の見直しを適宜行い、市街地への買い物などの利便性の向上を図り、交通弱者対策を進めます。

(イ) 地域の産業が持続的に成長・発展する地域づくり

- a 東北中央自動車道天童インターチェンジ周辺は、広域交通網の活用により利便性が高いエリアであるため、企業の立地誘導、集積を図り、若年層や離農者の受け皿となる就労の場を確保します。
















西部地域

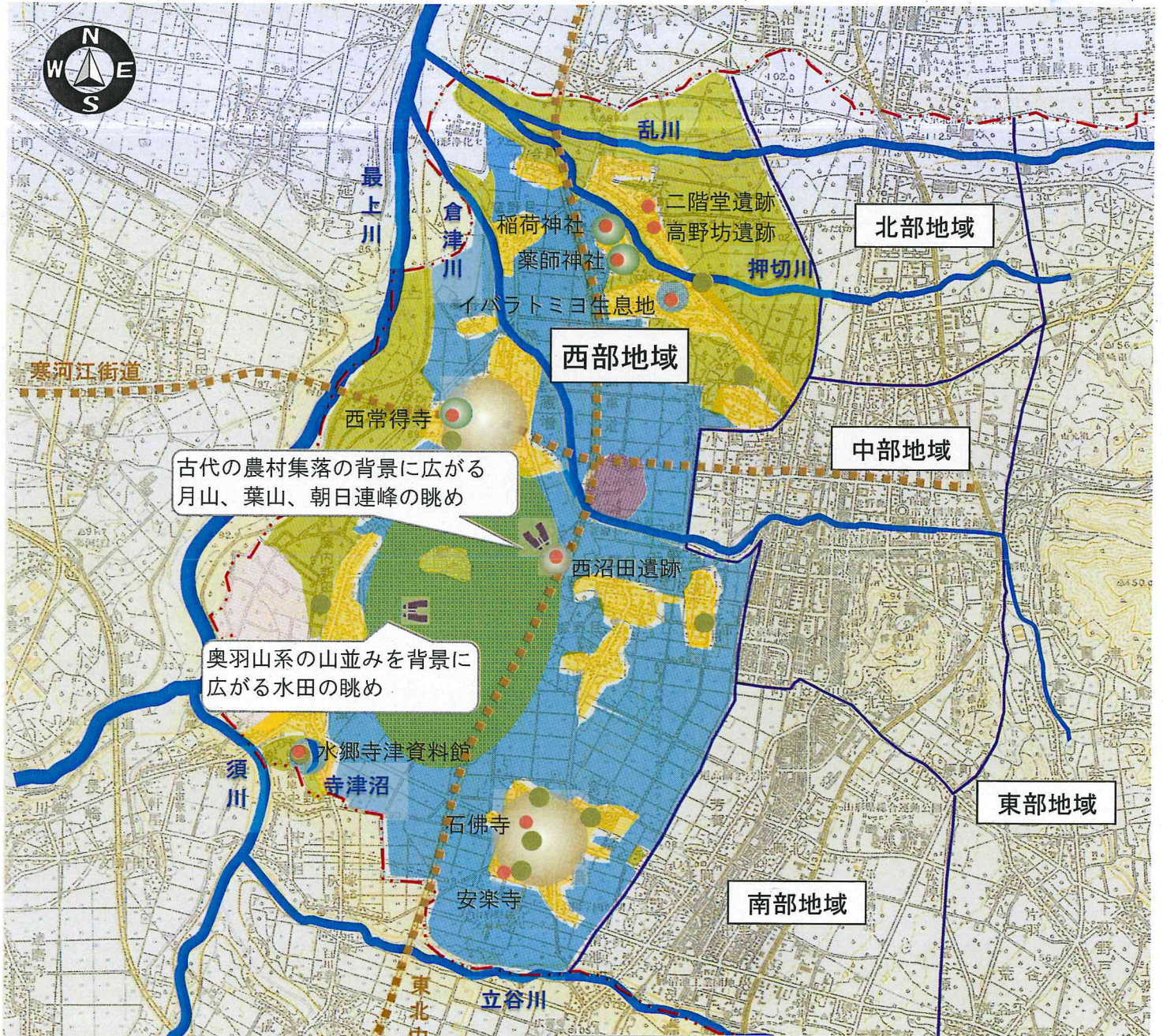
北部地域

中部地域

東部地域

南部地域

-  農村生活環境の整備
-  水田中心の高生産性農業の展開
-  果樹中心の高生産性農業の展開
-  森林の保全・活用(自然公園区域内)
-  森林の保全・活用
-  良好な住環境
-  新たな住宅地の形成
-  商業地の形成
-  観光・レクリエーション拠点の整備
-  工業・業務地の整備・保全
-  緑地と水辺の保全・活用
-  観光拠点の整備
-  山間交流・体験エリア



古代の農村集落の背景に広がる
月山、葉山、朝日連峰の眺め

奥羽山系の山並みを背景に
広がる水田の眺め

凡 例

- 農村生活環境の整備
- 水田中心の高生産性農業の展開
- 果樹中心の高生産性農業の展開
- 観光・レクリエーション拠点の整備
- 工業・業務他の整備・保全
- 田園の風景
- 果樹園の風景
- 水の風景
- 森林の風景
- 城下町・歴史的風景
- 温泉
- 眺望・景観ポイント
- 景観ポイント
- 街区公園